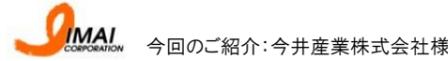


サポーターの方からのご支援ありがとうございます



総合建設業ならびに美術館を運営している法人サポーターの今井産業株式会社様(島根県江津市)は、「事業を通じて地域社会の発展に貢献する」ことを理念に掲げています。同社は「自分を再発見できる癒しの美術館」として、島根県の地元で愛されている今井美術館において、入館料の一部をカンボジアの教育支援へのご寄付としてくださっています。常務で今井美術館の運営統括責任者の今井大造さんは「有料入場者数×10 円を寄付としています。今後、集客に力をいれて、頑張って支援を増やすことができればと思っております」とおっしゃっていました。

CIESF では企業の方々と一緒に、支援企画を作っていきたいと考えております。皆さまのご協力お待ちしております。



5 月～6 月に開催した院展のポスター (寄付についても明記してあります)

CIESF に関するイベントのご報告

● 「国境なき教師団」応援団主催 カンボジア教科書展(10/2～10/23)

「国境なき教師団」応援団主催のカンボジア教科書展が、愛知教育大学図書館 アイ・スペースにて、10 月 2 日(金)～10 月 23 日(金)まで開催されました。CIESF 理事で愛知教育大学名誉教授の金森正臣と CIESF カンボジア副代表で同じく愛知教育大学名誉教授の長沼健(「国境なき教師団」応援団長)を中心に、「国境なき教師団」応援団のご協力のもと、開催されました。当初は 12 日までの開催予定でしたが、大学側からの要望もあり、延長いたしました。大学内での開催ということもあり、学生や大学関係者の方が大勢見られました。また、遠方から「国境なき教師団」応援団のメンバーも駆けつけ、カンボジアでの教育支援に関心のある岐阜の高校生も見に来てくれました。展示を見た同大学の学生が、会期中ボランティアとして参加し、スタッフが少ないなかでの開催を支えてくださるという心温まるエピソードもありました。応援団やボランティアの皆さまの国内でのご協力に心より感謝申し上げます。「国境なき教師団」応援団は、随時集中です。詳しくは CIESF のホームページをご覧ください。

gooddo

●gooddo(グッドゥ)へのクリックによるご協力をお願い●
gooddo の CIESF のページに行き、「応援する」というボタンをクリックすると「応援ポイント」が貯まります。ポイントに応じて支援金が届けられます。

gooddo シーセフ 検索



「国境なき教師団」応援団の先生の引率で教科書展を見に来た岐阜の高校生

CIESF サポーター募集

- 法人サポーター 1口10万円(寄付から1年間)
- スペシャルサポーター 1口5万円(寄付から1年間)
- 個人サポーター 1口1万円(寄付から1年間)

三菱東京 UFJ 銀行 青山支店(店番 608)普通預金
口座番号 0021714
口座名 公益財団法人 CIESF 理事長大久保秀夫

※ゆうちょ銀行、楽天銀行、クレジットカードでの寄付については、CIESF ホームページをご覧ください。



CIESF の支援活動は寄付で成り立っています。皆さまのあたたかいお気持ちをお待ちしております。

編集後記 食欲の秋、行楽の秋、読書の秋、スポーツの秋。秋って忙しいですね。すべてを楽しむ日数はないので先日、早朝から登山して山頂で朝ごはんを作って本を読んで下山してビール飲んできました。1 日で秋を満喫。どんと来い冬。(YM)

発行:公益財団法人 CIESF
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-7-5
URD 渋谷第 2 ビル 4F



CIESF NEWS LETTER

シーセフ ニュースレター 2014 November

第 26 号

公益財団法人 CIESF(シーセフ)は、非営利で国際的な民間の支援団体です。基礎教育の質の向上を主な目的とし、その上で高度人材育成も行い、カンボジアをはじめとした途上国の発展を支援します。

産業人材育成事業も行っています

CIESF といえば、「国境なき教師団」の活動を中心に、カンボジアで教育の中身の支援を行っている教育支援団体——というプロフィールが一般的です。CIESF の柱となっている事業である「国境なき教師団」の教師派遣事業は、2008 年の設立当初から行ってきた活動です。プノンペンとプレイベンの小中学校教員養成校に日本のベテラン教師を派遣しはじめて 6 年目を迎え、5 年間の成果がようやく実を結んできました。そして、もうひとつの柱として 2011 年からスタートしたのが、産業人材育成事業です。



CBTC の日本語の授業風景(初級クラス)。日本からベテランの日本語教師を派遣し、生きた日本語を教えています

カンボジアは、まだまだ学校教育に課題を抱えています。それでも質の高い教育を受ける機会や環境に恵まれた人は、能力を発揮し、海外への留学や外資系企業への就職を果たしています。しかし大部分は、基礎教育がないまま丸暗記の詰め込み教育を受け大人になります。ここ数年、カンボジアへの日系企業の進出が増加の一途をたどっています。そこで必要となるのが産業人材です。しかし日本人の感覚で現地スタッフを雇ってみると、雇用者も被雇用者もうまくいかず、すぐに辞めるもしくは解雇されてしまうこともあります。そこにある壁は、教育でした。CIESF では、2011 年にプノンペンに日本語とビジネスマナー等を教える学校 CIESF Business Training Center(CBTC)*を開講し、毎年 100 人以上の産業人材を輩出しています。CBTC は学費が無償のため、本気で日本語を学んで日系企業に就職したい！ という情熱を持った学生が入学してきます。教育の環境を整えてあげると、学生は目をキラキラ輝かせスポンジが水を吸うように新しい知識を吸収していきます。未来をつくる若者の夢をかなえるための産業人材育成も、途上国にとって重要な教育支援のひとつです。

*2012 年 10 月に Cambodia Japan Business School(CJBS)から改称しました



学生のレベルによって初級から上級まで複数のクラスに分かれ日本語検定試験の合格をめざします。昼間部と夜間部があります



今年度は昼間部に過去最多の 235 名の学生の入学を受け入れられました。教室が足りず、共有スペースも利用して授業を行っています



CBTC 三期生の卒業と四期生の入学

今回卒業生は 161 名でした。日系企業に就職した学生もいれば、大学で勉強を続ける者や CBTC の夜間部で更に日本語の勉強を続ける予定の者もいて、新たな場所でも常に挑戦しながら努力を続けていくことになります。CBTC では過去 3 年間で昼間部と夜間部の学生合わせて 542 名の卒業生を輩出してきました。CBTC で日本語や日本のビジネスマナーを学び、企業にてカンボジアの発展に寄与してくれていることが私たちの誇りです。(CIESF ホームページ「現地レポート」より)



～講演いたします～

CIESF では、活動をお伝えする講演活動を行っています。話者は、CIESF 創設メンバーであり、理事・事務局長の戸田陽子です。団体設立から日本の事務局運営を行ってきた女性の視点で、カンボジアをはじめとした途上国にとって、今必要な教育支援についてお話いたします。少人数からイベントでのコンテンツとしてなど、ご相談に応じますので、ご興味のある方はお問い合わせください。

特集 教育関連企業と社会貢献④

カンボジアをはじめとした途上国の教育支援を行っている私たち公益財団法人 CIESF は、日本の教育について調べて、考えてみることにしました。現在カンボジアにおいては、学校という建物(=ハードウェア)ではなく、教育の中身(=ソフトウェア)の支援を行っています。具体的には、教師の質の向上を目指しベテラン教師を現地の教員養成校に派遣する「**国境なき教師団**」事業。そしてカンボジア教育省の若手官僚から国の教育政策を担う人材を育成する**教育政策大学院大学**事業です。日本の教育に基づいて、カンボジアに適した形でアドバイスをを行うのですが、基本となる日本の教育について、きちんと知っておかなければならないと思いました。現在、日本の教育も様々な課題を抱えています。その課題解決の課程や方法は、将来、途上国の教育支援に必ず活かせると想定しています。

まずは、教育関連事業を行っている企業の方にインタビューを行い、学校とは違う角度で日本の教育における課題を伺ってみます。また、ご紹介する先は、教育関連企業の中でも社会貢献に力を入れている点に注目し、取材のお願いをした企業です。



カンボジアで活動する「国境なき教師団」の教育アドバイザー

株式会社アカデミー 前編

インタビュー第 3 回目の今号では、「QUALIER(クオリア)な人づくり」(QUALITY & FRONTIER の造語)を目指し、0 歳から大学合格まで教育サービスを提供する企業、株式会社アカデミー(栃木県宇都宮市)をご紹介します。お話を聞かせてくださったのは、代表取締役社長の河内宏之(かわちひろし)さんです。

Human Success Support Company としての 3 つの理念

株式会社アカデミーは、創業以来 3 つの理念を掲げて教育事業にあたってきました。まず 1 つ目が「QUALIER な人づくり」です。QUALIER とは、QUALITY & FRONTIER の造語で、「未来を切り拓く上質な人づくり」のことを指します。「QUALIER な人」とは、知力・人間性・体力において群を抜き、その地域、その時代で光り輝く人生を生きることができた人のこと。たとえば、偉人ではエジソン、リンカーン、ヘレンケラー、ナイチンゲールなどがみな「QUALIER な人」ということになります。

「子どもたちに、そういう人になってもらいたいと思っています。努力して、勉強して、自分の力で道を切り拓き、自分のためだけでなく社会に貢献する、世の中の役に立つ人をつくるのが私たちの願いです。」と河内さん。

2 つ目が「夢実現支援企業」であるということ。この言葉には、単なる学習塾でも予備校でもない、人間一人ひとりの夢をかなえる企業になりたいという想いが込められています。同社が運営している幼稚園や目的別・目標別に多数展開され



代表取締役社長河内宏之さん

ている塾等の教育機関においては、そこに通ってくる子どもたちの「なりたい」夢をかなえるべく、さまざまな支援が行われています。そして 3 つ目が「成功者輩出業」であるということです。河内さんが次のように説明くださいました。

「私たちの業態は、単なる知的教育機関ではなく、成功者輩出業であると考えています。智・徳・体それぞれに優れ、社会に立って自己成長と他者貢献を生涯に渡り実践できる人。そういう成功者の輩出を支援する生業が、私たちの業態であると考えています。」

3 つの理念に共通するのが、高度な人材育成を行うことを目標としている点です。高度な人材、つまり成功者・次世代のリーダーには、社会に貢献する利他の心が必要だと同社は考えています。



夢実現支援企業としての責任

アカデミーでは、教育関連企業の中でも、群を抜いた社会貢献活動を行っているように感じました。いくつかご紹介したいと思います。まず、文化支援活動としての「ありがとうお母さん大賞」や「リンカーン大賞」といった作文コンクールの実施です。前者は、日ごろの感謝の気持ちを作文にするもの。普段なかなか口に出さない親への感謝の気持ちを文章にあらわすことで、感謝の気持ちを醸成することにつながっているそうです。後者は、アメリカの第 16 代大統領で「奴隷解放の父」と呼ばれた偉人の名から取っていますが、子どもたちが、もし自分が首相だったら、政治家だったら、知事だったら、国や地域をこうしたい、こうあったらいいなといった政治的な政策を作文にするというもの。まさに、次世代リーダーの育成を目指す企業の活動としてふさわしいものだと感じました。これらの活動から、優れた才能を発掘することができます。2003 年から行われている作文コンクールへは、毎年 1000 件を超える応募があります。



「リンカーン大賞」や「ありがとうお母さん大賞」といった作文コンクールを毎年開催

海外支援活動にも力を入れています。2007 年から、カンボジアに 2 校、ネパールに 2 校、バングラデシュに 1 校、学校を寄贈しています。「海外の子どもの支援は、成功したらやりたかったことのひとつです。今はハード面の支援にとどまっていますが、今後はソフト面の支援も行っていきたいと考えています。現地に行くと、学びたいという子どもたちのキラキラした目に、励まされます。開校式には社員も何人か連れて行きますが、いつか、塾に通ってきている子どもたちも連れて行ってあげたいですね。」(河内)

途上国の、校舎の不十分な学校に建物を寄贈し、子どもたちに学びの環境を整えてあげるという支援は、今後も続けていこうです。また、企業としての支援だけではなく、保護者が参加できる社会貢献活動も行っています。入塾の際に「奨学金支援コース」「世界の子ども支援コース」「グリーン・エコ支援コース」「児童支援コース」の 4 つから選択し、入塾金の 2%を寄付するというもの。たとえば「奨学金支援コース」の場合は、親を亡くした子どもの進学を支援する「あしなが育英会」と、貧困のため教育の機会に恵まれない東南アジアの子どもを支援する「ダルニー奨学金」への寄付となります。(次号につづく)

ご支援ありがとうございます (10 月)

CIESF の活動は、多くのサポーターの方々に支えられています。法人サポーターの皆さま(プラチナ・ゴールド・シルバー・ブロンズサポーター)・個人サポーターの皆さま(スペシャル・個人サポーター・「国境なき教師団」応援団)には、誠に感謝申し上げます。10 月にご寄付を頂戴した方々を下記にご紹介させていただきます(10/1~10/31)。

- 法人サポーター:BB コミュニケーションズ株式会社(プラチナ)/株式会社ヴィーテック(ゴールド)/有限会社やすらぎ堂(シルバー)/株式会社エフジー(シルバー)/有限会社ジェイ・エス・イー・ダイニング(ブロンズ)/株式会社弘陽電設(ブロンズ) ■支援企画寄付:リネットジャングル株式会社/株式会社愛媛企画/スマイルキュー株式会社
 - スペシャルサポーター:森拓也/河野孝
 - 個人サポーター:朝日秀仁/カウハルカ
 - 「国境なき教師団」応援団:町田弘
- ※以上敬称略